

主要産地における平成30年産水稻の収穫量及び作柄概況等について 第1報（9月3日現在）

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部（平成30年9月3日）

全 国 道 府 県	収穫量（早期栽培等）			作況 （早期栽培等）		作柄		一等米比率	
	予想収穫量 （30年8月15日 現在）①	予想収穫量 （29年8月15日 現在）②	前年産 との比較 （①-②）	作況指数 （30年8月15日 現在）	前年産 （29年8月15日 現在）	作柄の良否 （30年8月15日 現在）	登熟の良否 （30年8月15日 現在）	30年産水稻 うるち玄米 1等米比率 （30年7月末現在）	29年産水稻 うるち玄米 1等米比率 （29年7月末現在）
全 国	t	t	t					% 70.6	% 54.1
北 海 道						不良	やや良		
青 森						平年並み	平年並み		
岩 手						やや良	平年並み		
宮 城						やや良	平年並み		
秋 田						平年並み	やや良		
山 形						平年並み	平年並み		
福 島						やや良	平年並み		
茨 城						やや良	やや良		
栃 木						やや良	平年並み		
埼 玉									
千 葉						やや良	平年並み		
新 潟						平年並み	平年並み		
富 山						平年並み	平年並み		
石 川						平年並み	平年並み		
福 井						平年並み	平年並み		
長 野						やや良	やや良		
滋 賀						平年並み	平年並み		
兵 庫									
岡 山									
広 島									
愛 媛									
高 知	30,100	32,400 ▲ 2,300		100	104			50.8	41.0
福 岡									
熊 本									
宮 崎	30,500	32,200 ▲ 1,700		100	103			78.9	58.3
鹿 児 島	18,700	21,100 ▲ 2,400		101	107			55.2	38.6

収量構成要素、作柄及び品質等の概況	
道府県	自治体等公表資料（公表資料の抜粋）
北海道	<p>北海道における8月15日現在の作柄は、「不良」が見込まれる。これは、6月中旬から7月中旬の低温・日照不足の影響により穂数が少なくなり、全もみ数が「少ない」と見込まれるためである。（北海道農政事務所 8月31日付）</p> <ul style="list-style-type: none"> （9月予報）アカヒゲホソミドリシメの発生量：並（北海道病害虫防除所 8月28日公表）
青森	<ul style="list-style-type: none"> 青森県の8月15日現在における水稻の作柄は「平年並み」と見込まれる。これは、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）及び登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が「平年並み」と見込まれるためである。（東北農政局 8月31日付）
岩手	<ul style="list-style-type: none"> 岩手県の8月15日現在における水稻の作柄は「やや良」と見込まれる。これは、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）が「やや多い」と見込まれることと、登熟が「平年並み」と見込まれるためである。（東北農政局 8月31日付）
宮城	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県の8月15日現在における水稻の作柄は「やや良」と見込まれる。これは、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）が「やや多い」と見込まれることと、登熟が「平年並み」と見込まれるためである。（東北農政局 8月31日付）
秋田	<ul style="list-style-type: none"> 秋田県の8月15日現在における水稻の作柄は「平年並み」と見込まれる。これは、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）が「やや少ない」と見込まれることと、登熟が「やや良」と見込まれるためである。（東北農政局 8月31日付） <p>（鹿角）管内の水稻における刈り取り適期までの積算温度は、8月4日出穂日のほ場で950℃到達日9月19日、1050℃到達日9月25日となっている（8月31日以降は平年値を使用）。（8月31日付）</p> <p>（千北）8月30日現在のあきたこまちの刈り取り予想は、8月3日の出穂で、大曲と角館が9月14日、田沢湖が9月17日（950℃到達日）となっている。（8月31日付）</p> <p>（山本）8月20日現在の水稻定点調査ほ場（管内9地点）における生育状況は、穂数392本/m²、一穂着粒数80.4粒/本、m²当たり着粒数31,533粒/m²、葉数13.0、葉色34.5となっている。（8月28日付）（秋田県）</p>
山形	<ul style="list-style-type: none"> 山形県の8月15日現在における水稻の作柄は「平年並み」と見込まれる。これは、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）及び登熟が「平年並み」と見込まれるためである。（東北農政局 8月31日付） <p>（村山）管内の「はえぬき」生育診断圃場は、穂数が平年比105%、1穂粒数99%、m²当たり粒数104%と、平年並～やや多い状況。出穂盛期は各品種とも平年より3～4日早。（村山総合支庁農業技術普及課 8月30日付）</p> <p>（鶴岡田川）管内の出穂の盛期は平年より1日早い8月3日頃。平坦部では、「はえぬき」「ひとめぼれ」は8月3日頃、「つや姫」「コシヒカリ」は8月9～12日頃が出穂期。（庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課 8月24日付）</p> <p>（酒田飽海）生育診断圃「はえぬき」（酒田市萩島）の出穂期は平年より1日早い8月3日で、管内の出穂盛期は平年より1日早い8月4日。今年圃場内で出穂の「ばらつき」が見られる。品種別では「はえぬき」「ひとめぼれ」「雪若丸」が8月2～6日頃、「つや姫」「コシヒカリ」が8月9～13日頃の出穂。（酒田農業技術普及課 8月24日付）</p>
福島	<ul style="list-style-type: none"> 福島県の8月15日現在における水稻の作柄は「やや良」と見込まれる。これは、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）が「やや多い」と見込まれることと、登熟が「平年並み」と見込まれるためである。（東北農政局 8月31日付）
茨城	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県における平成30年産水稻の8月15日現在の作柄は、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことから「やや良」と見込まれる。（関東農政局 8月31日付）
栃木	<ul style="list-style-type: none"> 栃木県における平成30年産水稻の8月15日現在の作柄は、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことから「やや良」と見込まれる。（関東農政局 8月31日付）
埼玉	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県における平成30年産水稻の8月15日現在の生育は、生育期間を通じて高温・多照であったことから「やや良」で推移している。（関東農政局 8月31日付）
千葉	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県における平成30年産水稻の8月15日現在の作柄は、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことから「やや良」と見込まれる。（関東農政局 8月31日付）
新潟	<ul style="list-style-type: none"> 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、新潟県で「やや少ない」、富山県、石川県及び福井県で「平年並み」と見込まれる。また、登熟は、新潟県で「やや良」、富山県、石川県及び福井県で「平年並み」と見込まれる。（北陸農政局 8月31日付）
富山	<ul style="list-style-type: none"> 同上 <p>（9月予報）アカヒゲホソミドリカスミカメ発生量：やや少ない アサジカスミカメ：並 トゲシラホシカメムシ：並 （富山県農林水産総合技術センター 8月30日付）</p>

収量構成要素、作柄及び品質等の概況	
石川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上
福井	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上 ・ 8月30日現在、コシヒカリ、あきさかりともに青糶残存率および水分が平年より低下している。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月31日付)
長野	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県における平成30年産水稻の8月15日現在の作柄は、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことから「やや良」と見込まれる。 (関東農政局 8月31日付) ・ 平坦地の早生種「あきたこまち」は収穫始期。「コシヒカリ」は登熟中～後期。生育は平年より5～7日程度進んでいる。 (松本農業改良普及センター 8月28日付)
滋賀	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月15日現在の作柄の良否：平年並み 種数の多少：平年並み 1種当たりもみ数の多少：平年並み 全もみ数の多少：平年並み 登熟の良否：平年並み (近畿農政局 8月31日付)
兵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月15日現在の生育の良否：平年並み 草丈の長短：やや短い 茎数の多少：平年並み (近畿農政局 8月31日付) ・ 向う一か月の斑点米カメムシ類発生量：並 (兵庫県病害虫防除所 8月16日付)
岡山	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山県における8月15日現在の水稻の生育は、一部で平成30年7月豪雨の影響がみられるものの、梅雨明け以降晴天が続いており、生育の良否は「平年並み」で推移している。(中国四国農政局 8月31日付)
広島	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月15日現在における水稻の生育は、一部で平成30年7月豪雨の影響がみられるものの、梅雨明け以降晴天が続いており、生育の良否は「平年並み」で推移している。(中国四国農政局 8月31日付) ・ 8月下旬～9月上旬の斑点米カメムシ類の発生量(中北部)：やや多い (広島県西部農業技術指導所 8月29日付)
愛媛	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月15日現在の水稻の生育は、一部で平成30年7月豪雨の影響がみられるものの、梅雨明け以降晴天が続いており、生育の良否は「平年並み」で推移している。(中国四国農政局 8月31日付) ・ 9月の斑点米カメムシ類(普通期栽培)の発生量：やや多 (愛媛県病害虫防除所 8月30日付)
高知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期栽培の10a 当たり予想収量は465kg(作柄が良かった前年産に比べ33kg 減少)と見込まれる。また、農家等が使用しているふるい目幅(四国地域は1.75mm)ベースの作況指数は、「97(やや不良)」と見込まれる。 ・ 普通栽培の生育は「平年並み」で推移している。 (中国四国農政局 8月31日付)
福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡県における水稻の生育は、7月中旬以降天候に恵まれたことから、「やや良」で推移している。(九州農政局 8月31日付) ・ 9月の斑点米カメムシ類の発生量：やや多い。 (福岡県病害虫防除所 8月31日付)
熊本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本県における水稻の生育は、おおむね天候に恵まれたことから、「平年並み」で推移している。(九州農政局 8月31日付)

収量構成要素、作柄及び品質等の概況	
宮 崎	<p>(早期栽培水稻)</p> <p>(1) 穂数は、宮崎県では4月上旬以降高温で経過し、分けつ期間が短縮されたことから「やや少ない」。鹿児島県では各地帯で田植期の違いによる差がみられるもの「平年並み」。</p> <p>(2) 全もみ数は、宮崎県では「平年並み」、鹿児島県では「やや多い」。</p> <p>(3) 登熟は、幼穂形成期から出穂期にあたる5月下旬から6月中旬にかけて日照時間が平年を下回ったものの、7月中旬以降は平年を上回って経過したことから、宮崎県、鹿児島県ともに「平年並み」。</p> <p>(4) 被害は、気象被害では、台風接近に伴う風雨による倒伏がみられた。病害ではいもち病、紋枯病、虫害等ではスクミリンゴガイ及びカメムシの発生がみられたが、平年に比べやや少なくなっている。 (九州農政局 8月31日付)</p> <p>(普通期栽培水稻)</p> <ul style="list-style-type: none"> 普通栽培水稻の生育は、おおむね天候に恵まれたことから、「平年並み」で推移。 (九州農政局 8月31日付) <p>・9月の斑点米カメムシ類の発生量：やや少。 (福岡県病害虫防除所 8月24日付)</p>
鹿 児 島	<p>(早期栽培水稻)</p> <p>同上</p> <p>(普通期栽培水稻)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生育は「平年並み」で推移 (九州農政局 8月31日付) <p>・9月の斑点米カメムシ類の発生量(普通期水稻)：やや多い。 (鹿児島県病害虫防除所 8月31日付)</p>

注1：自治体等公表資料については地方自治体及び出先機関等が公表している資料から抜粋、日付は公表日。
注2：平成30年9月3日12時現在

参考資料

農林水産省(農政局、北海道農政事務所) 平成30年産水稻の8月15日現在における作柄概況、
農林水産省 平成30年産米の農産物検査結果(速報値/平成29年7月31日現在)、
農林水産省 平成29年産米の農産物検査結果(速報値/平成28年7月31日現在)、

平成30年度病害虫発生予察情報第16号9月予報(北海道病害虫防除所 8月28日)、
生育状況の情報(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/>)、
おいしい米づくり情報第10号(村山総合支庁農業技術普及課 8月30日)、
おいしい米づくり情報第12号(庄内総合支庁産業経済部農業技術普及課 8月24日)、
酒田・飽海米づくり情報第9号(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 8月24日)、
病害虫発生予報第6号(富山県農林水産総合技術センター 8月30日)、
稲作情報No.20(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 8月31日)、
平成30年度作物技術普及情報13号(松本農業改良普及センター 8月28日)、
平成30年度病害虫発生予報第4号(兵庫県病害虫防除所 8月16日)、
平成30年度広島県病害虫発生予察情報予報第7号(水稻)(広島県西部農業技術指導所 8月29日)、
病害虫発生予報(9月)(愛媛県 8月30日)、
平成30年度病害虫発生予報第6号(9月)について(福岡県病害虫防除所 8月31日)、
平成30年度病害虫発生予報第5号(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 8月24日)、
平成30年度病害虫発生予報第6号(鹿児島県病害虫防除所 8月31日)